

いわて生衛だより

編集・発行
(公財)岩手県生活衛生
営業指導センター
電話 019(624)6642
FAX 019(654)2741

岩手県生活衛生営業指導
センターホームページ



第36回 岩手県生活衛生大会を開催



昨年11月11日、盛岡市内ホテルにて、佐々木副知事、工藤県議会議長をはじめ、県や盛岡市、関係機関・団体等のご来賓並びに各生活衛生同業組合の皆様方、約130名の出席をいただき、第36回岩手県生活衛生大会を開催しました。

第1部基調講演では、(株)ii代表取締役 上久保瑠美子氏による『お金を掛けずに地元客をガッチリ掴む～「地域密着型」の集客・営業術』の講演を行いました。

WEB/SNSが主流の情報発信に対し、「ネットを使わずに、既存のお客様を優先する」ことで、集客アップにつなげるとの講義でした。

第2部表彰式では、今年度の岩手県知事表彰13名、並びに岩手県生活衛生同業組合中央会会長表彰11名のうち、大会出席された13名の皆様に表彰状が授与されました。また、表彰者代表謝辞を 飲食業組合 千葉武継氏が述べ、大会宣言を 美容業組合 佐々木房枝氏が朗読しました。

主 な 内 容

第36回岩手県生活衛生大会を開催	1	「生衛組合活性化塾 in 岩手」を開催しました	7
年頭のごあいさつ	2	『経営支援セミナー in 気仙』を開催しました	8
各種表彰受賞者	3	『経営特別相談員研修会』を開催しました	8
秋の叙勲受章者	4	『生衛業デジタル化講習会2024 in 盛岡』を開催しました	9
時の話題	4	後継者育成支援事業「調理体験学習」	9
組合だより	5～6	岩手セイエイ百貨店『デモンストレーション事業』を開催しました	10
すし業、中華料理、社交飲食業、食肉、理容、美容業		指導センターの応援団	10



年頭のごあいさつ

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

理事長 菊池 幸郎

明けましておめでとうございます。

生活衛生同業組合の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます

また、日頃より岩手県生活衛生営業指導センターの取組みにつきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より深く感謝申し上げます。

今年の干支「乙巳（きのと・み）」は、乙にはしなやかに伸びる草木、巳には再生と変化の意味があり、『努力を重ね、物事を安定させていく』とのこと、積み重ねられた努力が報われ「目標達成」する1年なるよう、私も努めていきたいと存じます。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残る中、観光客・来県者がコロナ前に戻ってきましたが、一方では、歯止めが利かない物価高騰や人手不足、賃金引上げ等の厳しい経営環境が続く1年ではなかったでしょうか。

こうした中で、生活衛生営業指導センターでは、事業者各々のニーズに応じた収益改善の一助となるよう、デジタル化をはじめ各分野での経営支援に取り組んで参りました。

また、地域における生活衛生業の役割でもある「地域ぐるみでの高齢者等の生活支援」について、生活衛生同業組合地区連絡協議会や地元社会福祉協議会等と連携を図りながら事業を実施してきました。

つきましては、引き続き、皆様が抱える諸課題の解消に向けた支援とともに、衛生水準の確保・向上に向けて、各生活衛生同業組合並びに県・市町村及び関係機関・団体等と連携を図りながら、鋭意取り組んでいく所存です。

皆様におかれましても、感染症予防等の衛生管理に万全を期していただきますとともに、利用者・消費者である地域住民に対する、なお一層の安全で安心できる生活衛生サービス提供に、努められますようお願いいたします。

結びに、生活衛生同業組合並びに組合員の皆様にとりまして、今年一年が更なる佳き年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

あけましておめでとうございます



年頭のごあいさつ

岩手県環境生活部長

大畑 光宏

令和7年の年頭にあたり、謹んで御挨拶申し上げます。

生活衛生関係営業者の皆様におかれましては、日頃から本県の生活衛生行政に多大な御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、燃料費や物価の高騰等による厳しい経営環境が続く中、営業施設の衛生水準の向上、消費者サービスの充実を始めとした、業界の健全な発展に日頃から積極的に取り組まれていることに深く感謝申し上げます。

さて、近年、人口減少や少子高齢化による働き手不足により、生産性やサービスをいかに維持し向上させていくかということが一層重要となっています。

令和6年11月に県が主催した、若者と大人、企業や地域づくり団体など様々な主体がともに岩手の未来を考える「いわてネクストジェネレーションフォーラム」では、大会メッセージとして、「前例踏襲や

形骸化した既存の業務等を見直し、AI・DXを活用しながら業務の効率化・最適化と創造的な余裕を生み出す『やめる改革』の推進、そして、これらの変化を新たな常識として浸透させていくこと」などの提言がなされました。こうした考えは、事業者における今後の事業経営におかれても参考になるものと思います。

生活衛生関係営業に携わる皆様におかれましては、社会情勢の変化に応じて、講習会等による若手や後継者の育成、デジタル化による業務の効率化などにも新たに取り組まれながら、持続的で安全・安心なサービスを提供いただいております。

県においても、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランで人口減少対策やDX推進を施策の重点事項の一つとして掲げているところであり、諸種の取組を推進するとともに、今後も生活衛生関係営業の皆様と連携して、快適に安全・安心して生活できる衛生環境の維持・向上に努めて参りますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、生活衛生関係営業の御発展を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

令和6年度各表彰受賞者の皆様 栄えある受賞おめでとうございます

令和6年度生活衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰と全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰において、下記の皆様が受賞されました。

◎厚生労働大臣表彰受賞者



社交飲食業
副理事長
折居 真光 氏
(花巻市)



飲食業
副理事長
蝦名 紹功 氏
(盛岡市)



美容業
理事長
佐々木 靖 氏
(盛岡市)



旅館ホテル
理事
高橋 俊彦 氏
(八幡平市)

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰受賞者



すし業
常務理事
栗畑 清継 氏
(盛岡市)



すし業
常務理事
八重樫 義勝 氏
(北上市)



飲食業
副理事長
藤原 和広 氏
(盛岡市)

◎岩手県知事表彰（生活衛生功労者並びに生活衛生優良施設）受賞者

（生活衛生功労者（団体役員））

- | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| ①すし業 安齋 実 (奥州市) | ②中華料理 堀内 公和 (紫波町) | ③社交飲食業 平野 克幸 (奥州市) |
| ④飲食業 千葉 武継 (大船渡市) | ⑤理 容 瀬川 久和 (盛岡市) | ⑥理 容 鹿糠 敏満 (久慈市) |
| ⑦美容業 小野寺 初子 (一関市) | ⑧旅館ホテル 中村 貞司 (岩泉町) | ⑨クリーニング 佐藤 栄 (北上市) |

（生活衛生優良施設）

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ①中館理容所 中館 敦子 (住田町) | ②髪のアトリエRYU 高橋 竜 (一関市) |
| ③ヘアースалонтаグチ 田口 善朗 (釜石市) | ④サロンド・けい 千葉 和江 (一関市) |

◎岩手県生活衛生同業組合中央会長表彰受賞者

- | | | |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ①社交飲食業 西部 邦彦 (盛岡市) | ②中華料理 平野 初雄 (奥州市) | ③中華料理 菊地 栄志 (奥州市) |
| ④社交飲食業 高橋 春夫 (奥州市) | ⑤飲食業 志田 繕隆 (大船渡市) | ⑥飲食業 守口 由美子 (盛岡市) |
| ⑦理 容 槻館 一信 (二戸市) | ⑧理 容 山下 貴光 (宮古市) | ⑨理 容 上村 信 (雫石町) |
| ⑩美容業 薄井 信次 (一関市) | ⑪クリーニング 佐藤 敏見 (二戸市) | |

◎全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状

- ①美容業 佐々木 房枝 (宮古市)

飲食業組合 小笠原 義彦 前理事長

旭日双光章 受章おめでとうございます

この度、令和6年秋の叙勲に際し、はからずも旭日双光章の栄に浴することができました。これもひとえに、組合員の皆様のご協力やご支援、先輩諸氏のご指導、家族の理解と協力の賜物と心より感謝申し上げます。

去る11月7日にホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングに於いて達増知事より勲章を拝受し、18日には皇居宮殿内の豊明殿に参内して、天皇陛下に拝謁を賜りました。

天皇陛下よりあたたかい労いと励ましのお言葉を賜り、身に余る光栄に感激しました。

今後も岩手県飲食業生活衛生同業組合ならびに岩手の生活衛生業の更なる発展に向けて努力してまいりたいと思います。一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



時の話題

岩手はとり肉の一大生産地です！

(一社)岩手県獣医師会 理事
白岩 利恵子

皆さんが普段から食べているとり肉料理は、から揚げや焼き鳥などたくさんあります。これからの寒い季節は、心も体もあたたまる鶏の水炊き鍋などもうれしいですね。

このとり肉ですが、皆様方の食卓に安全に届けるため、獣医師が一羽ずつ「食鳥検査法」により検査していることをご存知だったでしょうか。この獣医師ですが、岩手県獣医師会食鳥検査センター職員で、県内12か所の食鳥処理工場に派遣し、検査を行っています。

私は、岩手県獣医師会の理事であるとともに、この食鳥検査センターの所長も務めています。

岩手県はとり肉の一大生産地で、なんとその生産は鹿児島県、宮崎県に次いで全国第3位で、本県の農業生産額の第1位を占めています。その検査する羽数は、令和5年度で約1億2300万羽余となっています。1日あたり約46万羽余を検査していることになります。

しかしながら、岩手県（県庁所在地&政令市）の鶏肉購入量は全国第49位で、年間4.9kgと生産

県としてはとても少ない購入量となっており、残念です。ちなみに第1位は大分市の8.7kgで、ほぼ2倍の購入量となっています。

とり肉は、ご存知のとおり、低脂肪・高たんぱく・ビタミンが豊富ですが、特に「イミダゾールペプチド（イミダペプチド）」という抗疲労成分が多く含まれており、渡り鳥が長い距離を飛んでいても疲れないのは、この成分のおかげといわれています。この成分は「とりむね肉」と「ささみ」に最も豊富に含まれていると言われています。

私はとり肉が大好きで食卓の登場回数も多いですが、とり肉料理専門店以外の飲食店では、とり肉の料理が少ないところもあります。ぜひ、とり肉の部位と特徴を知って消費者にたくさんのとり肉を提供していただければ嬉しいです。とり肉関係事業者の努力によって価格も懐に優しい金額です。

ちなみにとり肉は、どんな食材とも相性がよく、私は野菜と一緒に炒めたり煮込んだりします。また、某ホテルの総料理長が調理した「貝とむね肉のスープ煮込み」、これはとても簡単で私も調理してみましたが、貝の出汁がとり肉にしみこんで、美味しく食べることができました。ぜひ皆様もおためしく下さい。

【内閣府食品安全委員会】

とり肉や鶏卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザに感染する可能性はないと考えています

組合だより



すし業

全国すし連 岩手大会開催

10月23日(水)盛岡グランドホテルにおいて「心・技を継ぐ」をテーマに第67回全国すし連岩手大会が開催されました。

全国から来賓、組合員を含め総勢381名の方にご参加いただきました。

当日は開会セレモニーのテープカットと同時に27社出展による経営近代化展・物産展が開会。大会式典に先立ち書道家 沢村澄子氏による「心」の豪快な文字の披露。続いて岩手県指導センターの元専務理事尾形盛幸氏による「東日本大震災復興支援とコロナ復興」をテーマに基調講演が行われました。

懇親会では盛岡第二高等学校箏曲部OGの「KOTOKOTO」メンバーによる美しい音色でのお出迎え。後半は参加型のさんさ踊りと続き会場は大きな盛り上がりとなりました。開催にご協力いただいた組合関係の方々には本当に感謝いたします。



中華料理

令和6年度 レクリエーション大会 in水沢

毎年持ち回りで開催している今年のレクリエーションは、水沢支部での開催。

水沢支部支部長菊地栄志さんのお店「リサージュ四季の抄」で行いました。

会場に入るなりウエルカムドリンクが渡され、早速喉を潤しました。

理事長の挨拶から始まり、水沢支部坂さんの乾杯でスタート。

各テーブルには、前菜からいろいろなお料理が並べられました。飲み物は飲み放題です。

少しお腹も満たしたところで、早速ゲームの開始、支部対抗戦で行います。最初に行ったゲームは『お買い物ゲーム』スーパーで購入した10点の商品の金額を充てるゲーム。一番金額の近かった支部が購入品すべて持帰り、一番金額の遠かった支部が罰ゲーム。商品は、フルーツや日用品、飲

み物など各支部頭をひねり各商品の金額を想像し合計金額を出し合いました。

次のゲームはカジノゲームの『ルーレット』各支部代表2名が選出されゲームスタート。途中まで勝っていた支部は、最後にすべてをかけ大敗。

最後のゲームは『味覚当てゲーム』2種類のを食べたり、飲んだりして、指定されたものを当てるゲーム。1回目アサ○ビールとキリ○ビールを飲み比べて、どちらがアサ○ビールか当てました。2回目はワイン1本5,000円のワインと1本300円のワイン高いワインはどちらか当てる。なかなかどれも難しく、出場者は苦戦を強いられていました。

そして、3回目が販売しているチャーハンとりサージュの料理長のチャーハンどちらがりサージュの料理長のチャーハンか当てる。さすがにこれは全員がわかりました。

年に一度、支部持ち回りで行っているレクリエーション。組合員同士の親睦が深められまた、ゲームも各支部によって内容も変わるので毎年楽しみにしています。



社交飲食業

コロナが明けて2年目、 今思うこと

新型コロナウイルスが5類に移行し、2年目を迎えた令和6年。いよいよ賑わいも戻ってくるかと思いきや、コロナ3年間の自粛ムードは外飲みを遠ざけた。飲まなくなった、弱くなった方々の声をよく耳にする。さりとて客を待つ看板は煌々と夜を照らすのみ…。

と、嘆いてばかりでは何も変わらず、あらためてお店のことを考えるいい機会にもなった。飲みとは？ふれあいとは？カラオケとは？社交場とは？そして、今の状況を受け入れた一国一城のママさんやマスターたちは強い。いや元々強いし、図太い。

お客さまを楽しませる雰囲気づくりは流石である。よく考えると、我が身1つで、右や左やお客さまをもてなすのだ。話し上手、聞き上手、小鉢上手、歌上手。ご常連さんも集えば、和気藹々と1つの居心地のいい空間が生まれる。ふと思う。

これってエンターテインメント、娯楽なのでは？と。昨夜も酔いどれのお客さんの楽しそうな歌声が、夜のこの街をゆらゆらと舞っていた。

平成から令和へと時代は変わり、また世代も移ろうだろう。今の若者は、そういう場所に行くのだろうか？と不安になる。社交場には新しい価値観を求められるかもしれない。6月に、長年勤めていた西部理事長が交代となり、瀬戸新理事長の体制となった。接客を伴う店として、コロナ禍では悔しい思いをしてきた社交組合。この面々はこれからも強い。



お肉についての食育教室 in 普代村

岩手セイエイ百貨店デモンストレーション事業 in 「普代村」に参加させていただきました。

地域の子供たちと保護者に食育教室を開催し、お肉について学んでいただきました。

お肉の教科書(テキスト)、パネルを使用し、牛の耳標には牛の情報が記入されていることや、ウィナーの食感を解説、おにく博士のクイズにもチャレンジ、子供たちからは、「お肉大好き」と積極的に手をあげて取り組んでいただきました。

終了後は、普代村の上神田精肉店のメンチカツなどお肉満載のお弁当が配られました。県産のお肉をこれからもたくさん食べていただけるよう美味しい体験をしていただけたのではないかと思います。

組合ではお肉のPRとして、盛岡市農業まつりへの参加、お肉の食比べツアーの開催のほか、お肉の料理講習会を開催し、調理方法やいろいろな部位の活用方法などを通して、お肉屋さん専門店の美味しさをお伝えしています。組合員店舗さんの売上に貢献できるよう組合としてどんなことができるのか、組合の活性化や組合活用、会員の積極的参加を促すために今後も積極的に活動をしていきたいと思っています。



『儲かる業づくり』

大人のENSOKU（筋力アップとストレッチの方法・習得セミナー）開催！！

令和6年10月28日(月)山田町において、令和5年度補正予算生衛関係営業対策事業「儲かる業づくり」大人のENSOKU（遠足）、筋力アップとストレッチの方法・習得セミナーが開催された。

旧船越小学校に組合員参加者63名が集合、出発前に湊理事長の挨拶を受け、全員で怪我防止のためにストレッチを行い、遠足がスタート。山道、漁港沿いのルートを歩き、湊理事長がガイド役となり各場所で概要説明。途中で水分補給、休憩タイムを取った後、昼食場所にはデリバリートラックが待機していて参加者に、秋刀魚のつみれ汁、厚焼き卵、梅干し入り味噌おにぎりが振る舞われた。美味しい食事でつみれ汁を何杯もお代わりする方も見受けられ、昼食後近隣の荒神神社に参拝して、ここでも湊理事長から沢山の説明を受けて、帰りは同じルートを歩き旧船越小学校に皆さん無事に到着。今回は普段の講習会とは異なり、海を眺めながらリラックスして楽しく親睦を深めるイベントとなりました。参加して頂いた皆様大変お疲れ様でした。そしてこのイベントの準備にご尽力いただきました山田支部員の皆様、誠にありがとうございました。



北海道・東北ブロック総会 が盛岡で開催

コロナ収束後1年半が経過し、生衛業界は回復半ばと言った景気動向のようです。一方で新分野の開拓や新たな営業形態が広がりを見せている動きもあります。その動き自体は奨励したいところですが、健康被害や制度との軋轢を生む可能性もあり安易に判断はできません。全美連では動向を見守りつつ、制度維持に徹した活動をしているところです。

さて、9月9日盛岡で北海道・東北ブロック総会が開催されました。

これは、毎年持ち回りで行われるもので、岩手では7年ぶりの開催になります。組織増強のための情報共有、そのための懇親は総会の要です。全国生活衛生営業指導センター指導調査部の伊藤由満氏に組合の重要性と組織強化についての講演をしていただき、自らの立ち位置の再確認から入り、山形県や当県の状況を報告させていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。その後の懇親会は、当県の理事たちの働きで、大きく盛り上げることができました。結果、各単組や関係団体の連帯感を高められたと確信しております。

気運の停滞、物価高騰、組合員の高齢化等々、厳しいことを上げればきりがありませんが、関係団体や前向きな仲間の協力の元、今後も取組んでいきたいと思っています。



「生衛組合活性化塾in岩手」を開催しました

岩手県生活衛生営業指導センターでは、「超高齢社会における生衛業の役割」と題し、パネルディスカッション方式による研修会を開催しました。概要は次のとおりです。

令和6年**9月12日(木)**、於：岩手県美容会館 **参加者39名** (会場31名、オンライン8名)。

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
報告：岩手セイエイ百貨店の取組みについて	15	佐々木浩明	岩手県生活衛生営業指導センター事務局次長
パネルディスカッション	70	桑原廣美 白岩利恵子 八重桜明人 尾形秀治 小野寺宏行	全国生活衛生営業指導センター研究員 元岩手県 県民くらしの安全課総括課長 久慈市地域包括支援センター前係長 一関市社会福祉協議会千厩支部長 岩手県理容組合常任理事、東磐井支部長



岩手県における 岩手セイエイ百貨店の取組みについて ～生衛組合地区連絡協議会、市町村等との協力・連携～



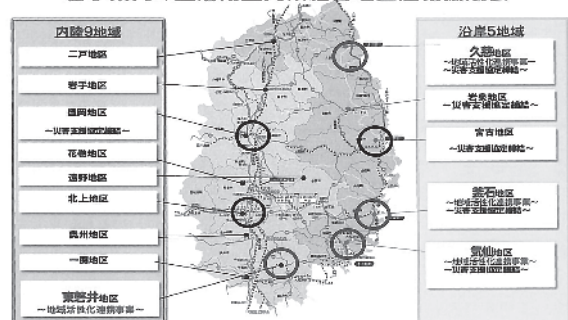
デモンストラーション事業：2023年（令和5年）10月23日、岩手県一関市千厩町

2024年（令和6年）9月12日（木）
（公財）岩手県生活衛生営業指導センター
事務局次長 佐々木 浩明

第1 岩手セイエイ百貨店事業とは

1-1 「活動」の母体は、地区連絡協議会！

岩手県内の生活衛生同業組合地区連絡協議会



『経営支援セミナーin気仙』を開催しました

次のとおり経営支援セミナーを開催しました。

令和6年10月6日(日)、大船渡商工会議所。生衛事業者等12名

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
デジタル化活用による経営の効率化・収益力確保について	60	青淵 正幸	立教大学教授
中小店舗デジタル化を楽しむ	60	山口 己智一	厚生労働省生活衛生課経営環境専門官
専門家による無料個別相談会	90	工藤 健人	工藤健人中小企業診断士事務所代表



青淵教授



山口専門官



工藤中小企業診断士



受講者の皆さん

『経営特別相談員研修会』を開催しました

令和6年11月11日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、経営特別相談員研修会を開催。37名の経営特別相談員が受講。

今後、各地域において生衛業の皆様への相談対応等、ご活躍いただくこととしております。

研修科目	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
指導センター業務と特相員制度、生衛法と生衛組合の役割、デジタル化活用等について	30	小原 仁生	岩手県生活衛生営業指導センター専務理事兼事務局長
生衛業の税務について	60	丹代 一志	昆税理士法人代表社員 所長 税理士
コロナ復興・物価高騰に負けない店舗経営等、好事例の紹介など	60	桐田 武	元岩手県生活衛生営業指導センター経営指導員
公庫融資、衛経の有効活用等について	45	原田 雅也	日本政策金融公庫盛岡支店 国民生活事業 融資第二課長
地域包括ケアシステムの取組み等について ～岩手セイエイ百貨店～	25	佐々木 浩明	岩手県生活衛生営業指導センター事務局次長



受講者の皆さん

『生衛業デジタル化講習会2024in盛岡』を開催しました

令和6年10月7日(月)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて、生衛業デジタル化講習会を開催、48名が受講。

参加者アンケートでは、**96%の方から「わかりやすかった」との評価**をいただきました。
(各会場共通)

内容	時間(分)	講師氏名	講師所属、職名等
出展企業によるプレゼンテーション	60	(株)Donuts、(株)USEN、エクナ(株)、(株)リクルート、タカラベルモント(株)	
講演会「生衛業におけるデジタル化導入事例の紹介と事業承継」	50	工藤 健人	中小企業診断士、事務所代表
専門家による無料個別相談会		(有)アイエスサプライ、(株)サステナ、雨海中小企業診断士、工藤健人中小企業診断士	
相談展示ブース開場	14:30～ 16:30		



後継者育成支援事業「調理体験学習」

昨年10月8日、大船渡市立末崎中学校において、飲食業組合大船渡支部(千葉武継支部長)12名が講師となり、3年生26名と気仙光陵支援学校1名の27名が実習しました。

「わかめ養殖漁業発祥の地」とされる地元産業を学ぶ総合的な学習の一環として、3年間にわたって、種まき・収穫・加工・販売体験等を学習し、調理体験が集大成のその最後の学習でした。

調理メニューは、生徒自身が収穫・加工したわかめのナムルとチジミの2品で、給食にて堪能しました。

この後継者育成事業について、今後、実施を希望する組合や連絡協議会は、当指導センター(019-624-6642)まで連絡ください。



岩手セイエイ百貨店『デモンストレーション事業』を開催しました

1 令和6年9月30日(月)、田中地域公民館。地域の高齢者25名参加 (大船渡市社会福祉協議会協力)



2 令和6年10月21日(月)、山目市民センター。地域の高齢者12名参加 (一関市社会福祉協議会協力)



3 令和6年10月28日(月)、大川目市民センター。地域の高齢者24名参加 (久慈市社会福祉協議会協力)



4 令和6年11月18日(月)、おしゃっち。地域の高齢者29名参加 (大槌町社会福祉協議会協力)



5 令和6年11月23日(土)、普代村保健センター。地域の子ども・保護者9名参加 (村教育委員会事務局協力)



指導センターの応援団



(公財) 岩手県生活衛生営業指導センターの賛助会員の方々をご紹介します

小松総合印刷 株式会社

株式会社 総合広告社

株式会社 Fair Sports Morioka A.T

一般社団法人 岩手県食品衛生協会

タカラベルモント 株式会社

有限会社 アイエスサプライ

岩手県酒造組合

株式会社 いわちく

有限会社 ジロー印刷企画

工藤健人中小企業診断士事務所